

知事2期2年目の振り返り

2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、「日本一暮らしやすい埼玉」へ

2つの歴史的課題

人口減少と超少子高齢社会の到来

激甚化・頻発化する災害、危機



強い経済の構築

こどもまんなか社会
の実現

人口減少社会に
おけるまちづくり

日本一暮らしやすい
埼玉へ

暮らしの安心・安全
の確保

環境と経済の両立

自然災害・危機管理
対応

ほか

① 強い経済の構築（渋沢MIX・企業誘致）

「渋沢MIX」について

◆ 令和7年7月25日「渋沢MIX」オープン

様々な人や企業が出会い・つながり・共創することで新たなイノベーションが創出される場を目指して県がさいたま新都心駅直結のビル5階に設置



オープニングイベントの様子



◆ 渋沢MIXの主なサービス

- ▶ 専門人材を配置し、利用者同士の出会いや交流を促進
- ▶ 月20回程度さまざまなテーマのイベントやセミナーを開催

◆ 3つのコンセプトに基づくプログラムを実施

① オープンイノベーションの創出・促進

- ▶ 共創プログラム「Canvas」
企業同士をマッチングし、協業を伴走支援（支援金も支給）



② スタートアップの創出・成長支援

- ▶ スタートアップ創出・成長支援プログラム「S4」
起業前後・事業拡大期のスタートアップを伴走支援



③ イノベーションを担う人材の育成

- ▶ 大学生向け起業伴走プログラム「GAKU∞STA」
埼玉県内での起業や事業実施を目指す学生向け伴走支援



企業誘致の実績と新たな戦略

誘致実績

ソウル サイタマ 企業誘致soul-saitama戦略 R4～6年度

- 立地件数 166件（目標150件）
- 投資総額 約3,843億円（計画ベース）
- 新規雇用 4,047人（計画ベース）

【平成16年度からの実績】
立地件数1,398件

投資総額
約2兆4,082億円

H16H18H20H22H24H26H28H30 R2 R4 R6



【R6年度企業立地セミナー・東京】



【(株)創味食品関東工場・羽生市】

新たな戦略

「埼玉県企業誘致戦略」R7年度～

新戦術

- 労働生産性の向上が見込め、D XやG Xを促進する成長産業分野の誘致促進
- 市町村と一体となった誘致活動の強化
（ワーキングチームの設置による企業誘致活動）

① 強い経済の構築 (強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議)

- 令和2年5月に全国に先駆けて「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」を設置
- 産・官・学・金・労が連携し、戦略的取組をオール埼玉で社会実装
- 現在、「価格転嫁の円滑化」や「人手不足対策」に加え、「米国の関税措置」などの新たな課題にも対応

価格転嫁の円滑化に向けた取組

全国で初めて価格交渉支援ツールを開発！



主な特徴

- ① 原材料価格の推移が一目で分かり、価格交渉のエビデンス資料を簡単に作成
- ② 1,422品目の幅広い情報を網羅
※令和7年2月には、労務費データを追加（機能拡充）
- ③ 毎月県が、データを更新
- ④ 県ホームページで無料公開

埼玉県内にとどまらず、全国で活用
(ダウンロード数は、4万4千回超)

実施状況 【コスト高騰に対する価格転嫁が実施できている企業の割合(R7.3)】
(埼玉県) 6割以上転嫁 54.0% 県四半期経営動向調査
(全国) 4割以上転嫁 46.1% 中小企業庁フォローアップ調査

人手不足に対する連携した取組

特に人手不足が深刻な物流分野に対する対応



令和6年9月、戦略会議メンバーに宅配事業者や消費者団体などを加えた23者で「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」

「宅配を1回で受け取ろうキャンペーン 埼玉1万台大作戦」展開中



県内走行の集配トラック等1万台にPRステッカーを貼付完了。県民や荷主企業へ、再配達の削減を訴求。

② 人口減少社会におけるまちづくり

埼玉版スーパー・シティプロジェクト **56**市町村(約 **9割**)が参画

➤ 企業との連携を強化し、持続可能なまちづくりを推進

1 市町村と企業等との交流会

市町村のまちづくりの現状や課題を
企業と共有する場

→ 7月24日にりそなコエドテラスで開催、61人が交流

次回**10月**開催
さいたま市内



コエドテラスでの交流

2 ガバメントピッチ

市町村が地域の課題やニーズを発表し、
企業等は課題解決策を提案

→ これまで7市町14事業者のマッチングが成立

 明日**8/27**開催
オンライン



ガバメントピッチの報告会

③ 環境と経済の両立

ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーの推進により環境と経済の両立へ

ネイチャーポジティブ（自然再興）

自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること

◆ムジナモの「野生復帰」

- ✓ 県レッドリストでムジナモが県内初の野生復帰 (R7.1)



◆ネイチャーポジティブ活動に取り組む企業の裾野拡大

- ✓ 「ネイチャーポジティブ推進分科会」を新設 (R7.4～)
- ✓ キックオフイベントの開催 77人参加 (R7.7.30)



◆特定外来生物の防除

- ✓ クビアカツヤカミキリをはじめとした特定外来生物対策を推進
- ✓ 市町村向けネイチャーポジティブ補助制度の創設 (R7.4)

⇒ 県・市町村・企業・県民 ワンチームで「ネイチャーポジティブの実現」を目指す

サーキュラーエコノミー（循環経済）

生産活動、消費活動などあらゆる段階で資源を効率的・循環的に利用する経済活動

◆サーキュラーエコノミー推進センター埼玉 (R5.6.15設置)

相談 935件

マッチング 107件

※設置からR7.7.31までの実績

<マッチング支援による製品化例>
菓子製造時に発生するチョコレートブロックを有効活用し、養豚用飼料や有機肥料を製造



◆リーディングモデルの構築

- ✓ スタートアップ企業等によるビジネスプランコンテスト「CSUP」を開催 (R6～)
- ✓ サーキュラーエコノミーに取り組む企業向け 4種の補助制度の実施

合計21件採択 (R7年度)

<補助採択例>
ビール醸造排水の発電利用及び肥料製造



- ✓ リチウムイオン電池の広域回収・再資源化モデルの構築 (R5～)

R5年度 (2市と連携)

分別回収と再資源化の実証実験

R6年度 (5市)

R7年度 (6市)

マニュアル作成
効果的広報の検討

全県展開へ

④ こどもまんなか社会の実現

県こども・若者計画(R7.3策定)を推進し、こども・若者、子育て当事者が幸せに暮らすことのできる社会を実現

こどもまんなか社会の実現に向けた県の主な取組

こども・若者の健やかな成長・活躍

●こども医療費の拡大

県から市町村へのこども医療費に係る財政支援の拡充により、子育て支援の充実を後押し

- ・ こども医療費は、令和6年10月から全市町村で18歳となった年齢の年度末まで無償化
- ・ 市町村が地域の実情を踏まえた子育て支援事業を実施
(放課後児童クラブの充実、こども家庭センターの設置、産後ケア事業の実施など)

●「朝霞児童相談所」の開所

児童虐待に一層迅速かつきめ細かに対応するため、
県として8か所目となる児童相談所を開所。
(令和7年4月1日)



●「バーチャルユースセンター」の設置・運営

メタバース空間に小学生から大学生程度までのこども・
若者が安心して気軽に参加でき、交流、体験、相談等の機能
を備えた居場所「バーチャルユースセンター」を設置・運営。
延べ497名利用(令和7年7月末)



こども・若者の意見の尊重

●こどもの意見を聴き、施策に反映

①埼玉県こども会議

- ・ こどもたちが県政に対して意見を伝える
会議を開催。意見を知事に発表。



②さいたまけん★こどものこえ

- ・ こどもたちの意見を聴くため、Web(ウェブ)システムに
よるアンケートを実施。2,383名登録(令和7年度)

子育て当事者を支える支援

●保育士の確保・定着

①保育士の復帰・復職のサポート

- ・ 保育士がこどもを預ける際の保育料の半額を支援する期間
を1年間から保育料無償化の対象となるまで延長

②新卒保育士への支援の拡充

- ・ 就職準備金に30万円貸付のメニューを創設、さらに県外か
ら転居し就職する保育士には10万円を加算

⑤ スポーツの振興

屋内50m水泳場建設工事の着工

各種水泳競技の競技力向上、国内主要大会の開催及び県民のスポーツ振興を目的として整備する「**県内初の公営屋内50m水泳場**」の**建設工事が3月着工**。

- ◆整備地 埼玉県川口市
- ◆施設概要 50mプール、25mプール、飛込プール、観客席（約3,000席）、ドライランドなど
※全てのプールが可動床により水深調節可能
- ◆スケジュール
令和6～8年度 設計・建設
令和9年7月 開業



施設外観イメージ（西側から東方を望む）
※北側に川口市が北スポーツセンター
及び神根西公民館を整備



着工後の視察の様子（5月）

スポーツチーム観戦・応援アプリ「すぽったま！」

県内プロ・トップチームの試合観戦を促進し、応援の気運醸成を目的に、県内スポーツチームの情報を**一元化**し、県内外へ**発信できるアプリ**を開発、運用。

- ◆参加チーム数 **12競技 27チーム**
- ◆ユーザー数 **86,589人**
- ◆LINE友だち登録者数 **11,591人**
- ◆試合観戦スタンプラリー（R6.12.27～R7.3.17）
 - ・協力チーム数 **14チーム**
 - ・延参加者数 **3,986人**
- ◆チームコラボ企画（観戦招待・エスコートキッズ・体験教室など）
 - ・延べ**17回**／**8チーム**が協力
- ◆R7年度の予定
 - ・スタンプラリー継続、飲食店情報掲載、選手インタビュー充実



⑥ 県産農産物の躍進

県内生産者が栽培した「いちご」と「梨」が全国選手権を連覇。食味の良さで、県産農産物が高く評価された。

県育成品種が全国選手権(*)を**5連覇**！全国唯一の「プレミアムいちご県」に**3年連続**で認定！

(*)一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催



全国いちご選手権
「あまりん」3連覇

第1回(R5)第2回(R6)第3回(R7)



あまりん

際立つ甘さと
深みのある味わい



かおりん

酸味と甘味が強く
豊かな香り



べにたま

高い糖度と
爽やかな酸味



彩玉

「日本一美味しい」埼玉の梨！ 県育成品種「彩玉」も最高金賞を受賞！

第2回全国梨選手権「豊水」最高金賞
(R5.9月)

第3回全国梨選手権「彩玉」最高金賞
(R6.9月)

一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催

- ・口にした瞬間に広がるみずみずしい濃厚な甘さ
- ・平均550gにも及ぶ大玉で抜群のシャリ感



⑦ 暮らしの安心・安全の確保

警察官の増員

国に対して要望を継続した結果、地方警察官の増員が認められ、本県警においても、令和7年4月に**175人（全国第1位）**が措置された。

※全国で476人の増員

直近の国への増員要望

令和5年11月	国家公安委員長、長官官房長への増員を求める意見書を提出
令和6年11月	国家公安委員長への増員を求める意見書を提出 総務大臣への増員を求める意見書を提出

警察官増員による負担状況の軽減（R7.4.1現在）

条例定数 11,524人 → 11,699人	警察官1人あたり 人口負担 635人 → 626人	刑法犯認知件数負担 4.48件 → 4.42件
-------------------------------------	---	--------------------------------------



（仮称）川口北警察署庁舎新築工事の着工

事業の概要（令和9年3月開署予定）

川口市内の治安情勢等に的確に対応するため、川口市大字西立野地内に警察署を**新設**

工事の概要

○ 構造・規模

庁舎棟	： 鉄筋コンクリート造 4階建	5,127.88㎡
車庫・倉庫棟	： 鉄骨造 2階建	1,271.16㎡

○ 工期

令和6年10月～令和9年1月

工事現況



完成予想図



⑧ 自然災害・危機管理対応

埼玉版FEMA：平時からシナリオ作成や訓練を繰り返すことで関係機関との強固な連結を推進

令和2～6年度

28回開催

- ・ **風水害**における断水時の応急給水
- ・ **大規模地震**時における建物損壊等への対応
- ・ **大雪災害**時における降雪被害への対応
- ・ **火山噴火**時の降灰対策
- ・ **林野火災**発生時における各機関の対応行動
- ・ **国民保護（ミサイル）** 事案への初動対応

などを実施

消防、警察、自衛隊、ライフライン事業者、災害時応援協定事業者など

延べ**1,230**機関**1,946**人が参加

令和7年度

6回予定

- ・ **能登半島地震**での教訓を踏まえた訓練
「通信途絶状況下での対応」など



能登半島地震による被害 出典：石川県

- ・ その他**新たな訓練テーマ**で訓練
「不発弾発見時の対応」、「竜巻被害への対応」
- ・ 既存シナリオも継続的にブラッシュアップ

➤ **埼玉版FEMAの取組を全庁で推進**



埼玉版FEMA図上訓練



オンライン会議方式による
2会場での図上訓練

⑨ 不断の行財政改革

DXの推進により県庁業務の生産性を向上させるとともに、新たな財源を確保

TX (タスク・トランスフォーメーション)

デジタルを活用した業務効率化と県民サービス向上

ノーコード
ツール

生成AI

文字起こし
AI

コミュニケーション
ツール

取組事例①

研修のオンライン完結で受講負担軽減

県が実施する 事業者向け研修のTX

- 電子申請・手数料キャッシュレス化
- オンライン講習とウェブテストに

取組事例②

AIがヒアリングメモを瞬時に分析・要約

生成AIを活用した 県内企業調査業務のTX

- ノーコードツールでデータ管理
- 生成AIで分析し報告書を作成

効率化で生み出した時間で更なる生産性向上

- 職員のスキルアップ 庁内副業でモチベーションアップ
- 時間外勤務の削減 ワークライフバランス推進と働き方改革

ネーミングライツ

財源確保策として積極的に活用するため、県有施設への導入を推進

R6年度

能美防災 そなえ

● 埼玉県防災学習センター

● "NOHMI BOSAI SONA-E"

● Sakura Lake (元荒川・大相模調節池)

R7年度

● Lippo リプロ武道館

● 安全なまちづくりに貢献 邦栄建設㈱ 立ノ崎歩道橋

さいたまスーパーアリーナ



現在、募集中

企業版ふるさと納税

企業への積極的な働きかけを行い、目標を上回る寄付を獲得

寄附額の推移

